

巷の噂

# 距離ごとに最適なストライプがあるらしい

「ストライプ」と「距離」の関係を探究していた時、耳に入った、ある噂。何やらその両者の関係を研究している老舗スーツ生地メーカーがあるそうなの。聞くところ、小誌でも連載を執筆中の謎多き女史「カトリーヌ10世」が関わっているとのこと。彼女にその噂の真相を明かしていただいた。

Your Suit  
and her eyes

相手との距離

## 8m

遠くからでも輝く  
"儒殺"のストライプ

まずは、8mの距離からでも信頼できる華やかさをもつ生地。この距離で視線が立つとトゥーマッチなのでストライプは生地の光沢感も引き立てる脇役としてあしらわれます。持ち合わせに現れたその瞬間から輝くストライプ。

相手との距離

## 3~1m

相手から距離を縮めさせる  
"誘引"のストライプ

次に「ディスタンス3.2.1」。3m、2m、1mと近づくにつれて絶妙なストライプが見えてきます。「もっと近づいて、アナタをよく見たい」と思わせる、パーソナルスペースに相手から歩み寄らせるストライプ。

相手との距離

## -3m

またすぐに会いたくなる  
"追憶"のストライプ

そして「ディスタンス-3」。すれ違って3m過ぎた頃、相手が「はっ」として振り向きストライプ。デートのあと別れてから3時間たって、「あの振る舞いは、ああいう意味だったのか」とはっと気づかせる。そんなテクニックがともなえば最高です。

か

つてイギリスの弁護士会が会員に助言をしました。「テレビに出る時、信用を勝ち取りたいなら、ビン・ストライプのスーツはNG」。理由は、その派手さゆえ、視聴者の関心を本題から逸らしてしまふから。これに対し、ストライプ好きな弁護士が反論しました。「弁護士個人に視線が集まるのは、良いことでは？ 私のスーツが伝えるイメージは、現代性、親近感、そして自信ですから」と。そもそもビン・ストライプは帳簿の罫線から生まれた柄であり、先述したように、ストライプは無地よりも着る人の個性を強く浮き

上がらせるため、着こなしが難しいのです。しかし同時にそれは、デートに着るスーツの柄としては最適ともいええますね。ならば、これを活かすべきということ、ワタクシからヨコシマな紳士の方々に、品の良いタテジマとして尾州の「国鳥」をオススメいたします。彼らは画期的な発想で、ストライプを選ぶ観点を提案しています。相手との距離に応じて、8m、3m、1m、3mと3種類に生地を分類。私はそれを、それぞれ儒殺、誘引、追憶のストライプと名付けてみました。かくも奥深いストライプの威力に、目覚めなさい！

カトリーヌ10世 Catherine X

Profile グローバル化が進む社交界事情にも適する。密かな趣味は人探偵とコスプレ。日・英・仏語で本やコラムも書く。好きな飲み物はモンラッシュ。日本ではほとんど知られていない。ある小国の女王とのウワサも？



相手との距離ごとに分類される特別な生地「The KUNISHIMA 1850」には、ストライプ以外にチェック柄も用意されています。気になる方はこちらまで。中外国島 ☎0586-58-8767

